

善光寺ガイド研修 (11/1)

11月1日(水)に、本校国際教養科恒例の善光寺ガイド研修が、1年6組の生徒全員が参加して行われました。今年の講師は、例年お願いしている長野県通訳ガイドネットより、増尾はる子さんと中島信子さんのお二人にいただきました。2グループに分かれ、案内すべき場所をいくつか回り、英語での説明の仕方のポイントをお聞きしました。約1時間半、生徒たちは熱心にメモを取り、英語の表現やガイドのこつを学びました。今後、外国からのお客さんを相手に実際にガイドする日が来ると思います。その日を楽しみにしています。



熱心に勉強する生徒たち

【生徒の感想より】

- ・善光寺の説明だけでなく、“Watch you step!”と言うなど、観光客への配慮も大切なんだとわかった。
- ・仏教文化に親しみのない外国の人に対して、いかに面白く、分かりやすくガイドするかとても工夫されているなど思った。参考にして頑張りたい。
- ・英語の説明では、自分では思いつかない言い回しなどを教えてもらってすごく助かった。
- ・善光寺により興味が持てるようになったし、実際に使えることをたくさん教えてもらって良かった。
- ・自分がすごいと思ったことを外国の方にしっかり伝えられればいいと思う。
- ・善光寺の人気や基本情報、宗教についてしっかり魅力が伝えられるよう頑張りたい。

外務省 高校講座 (11/9)

11月9日(木)、6時間目とLHRの時間を使って1~3年の国際教養科の生徒全員が、外務省高校講座を受講しました。講師は、外務省領事局外国人課の課長補佐の箕輪智徳(みのわ とものり)さんという方で、質疑応答も含めて約80分間講義をしてくださいました。演題は「信州から世界へ:国際社会で働くために」というもので、外務省の仕事と役割、国際社会における日本の立場、異文化理解に必要なことなどについて、ご自身の経歴、体験談を交えて、大変興味深いお話をしてくださいました。後半クイズの出題もあったりして、生徒たちは外務省の存在をより身近に感じることができ、また世界情勢について多くのことを学ぶことができました。さらに放課後に行った座談会には3年生5名が参加し、1時間以上にわたっていろいろな質問にお答えいただきました。



熱心に聞き入る生徒たち



ゲーカパーでクイズに答える



座談会の様子

ワールドフェスタ IN 長野 2017 (11/12)

11月12日(日)、もんぜんぶら座の地下ホールにて「ワールドフェスタIN長野2017」が開催され、今年も本校国際教養科1年の生徒が4名参加しました。長野西高校のブースをひとつもらって、西高国際教養科の紹介を書いた模造紙3枚を掲示し、地元長野にまつわるトピックを扱った英語のクイズも用意して、来訪者と交流を持ちました。参加した4人は準備段階から積極的に活動し、国際教養科の行事や授業の紹介を大変きれいに模造紙にまとめました。当日も明るく元気よく行動し、長野市の担当者からお褒めの言葉をいただきました。生徒たち自身も楽しく一日を過ごすことができました。



西高ブースの様子



来訪者と交流



クイズに答えてもらう



担任も交えて



レシテーションコンテスト 2位に (11/12)

11月12日(日)、長野清泉女学院大学で、「第14回長野県高校生英語スピーチ・レシテーションコンテスト」が行われ、2年7組の小林さくらさんがレシテーション部門で見事第2位となりました。



表情豊かに発表する小林さくらさん



表彰式